

研究紀要「第62集」の発刊にあたって

このたび、田川郡教育研究所の研究紀要を無事に発刊できますことを、大変うれしく思っております。ご多用の中、日々の実践を丁寧に積み重ね、その成果をまとめてくださった各教科等部会の研究員の皆様、ならびに紀要作成にご尽力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

本年度は、研究テーマ

「生きる力」を育む学習指導の研究（6年次）

～ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して ～

の最終年度にあたります。これまで6年間にわたり、各教科等の特性を踏まえながら、児童・生徒が主体的に学び、対話を通して考えを深め、確かな学力と豊かな人間性を育む授業の在り方について実践的に研究を重ねてまいりました。

第4期教育振興計画の推進とともに進展してきたICT環境の整備は、授業改善を支える大きな基盤となりました。一人一台端末の効果的な活用により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られ、児童・生徒が自ら問いをもち、他者と関わりながら学びを深めていく姿が各校で見られるようになりました。本研究は、そうした教育環境の変化も踏まえながら、「生きる力」の育成という普遍的な目標の実現に向けて、授業の質的向上を追求してきた歩みでもあります。

本研究紀要には、6年間の実践の成果と課題、そして今後の方向性がまとめられています。各部会の報告は、単年度の取組にとどまらず、継続的な検証と改善を通して得られた貴重な知見であり、本研究の確かな成果を示すものです。ここに示された実践の積み重ねは、今後の田川郡における教育活動を支える大切な財産となるものと確信しております。

本紀要が、各学校における校内研修や日々の授業づくりの指針として活用され、本研究の成果が次なる実践へと継承・発展していくことを願っております。

結びに、本研究の推進並びに本紀要の発刊にあたり、多大なるご支援とご協力を賜りましたすべての皆様に、改めて深く感謝申し上げます。今後とも、田川郡の教育のさらなる充実と発展のため、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月

田川郡教育研究所 所長 長野 修